

「子どもたちの放課後を考える」

研修会・情報交換会を開催しました。

平成 26 年 1 月 28 日（火）鳩ヶ谷庁舎大会議室で自立支援協議会主催で「子どもたちの放課後を考える」研修会・情報交換会を行いました。この研修会は、障害のある子どもたちの生活を支えるタイムケアサービスに携わっている放課後等ディサービス、居宅サービスの事業所、留守宅家庭児童保育室の職員を中心に参加いただき、事業所の個性を尊重しながら各事業所間の連携の仕組み作りやサービスの質の向上、現場の人達の意見交換などを目的として開催されました。

昨年度は川口特別支援学校の久遠氏、川島ひばりが丘特別支援学校春木氏を講師としてお招きし、発達障害、肢体不自由の特性理解と支援についての講義を聞き学習した後、実践上の課題や各事業所の様子について情報交換を実施しました。

今年度は実際に放課後を担当している放課後等ディサービス事業所 3 つに発表していただき、それをもとに後半は各参加者の方々にグループワークを通じて振り返りをして頂いています。1 時間にわたり各グループ白熱した意見交換が行われていました。どの事業所でも本人や保護者の方の将来のことを考えながら活動されていることがよくわかり、参加者の方々同士で理解を深めあうことができたと思います。また、事業所ごとの特色を認め合いながら、地域で連携して支援をしていくことの大切さなどが改めて話題となりました。今後もさらに、暮らしやすい川口のまちづくりのため、各関係機関の皆様にはご協力よろしくお願い致します。

平成 26 年 1 月 28 日（火）9：30～12：30 鳩ヶ谷庁舎 2 階大会議室

- ・あいさつ 川口市障害福祉課 岩崎課長補佐
- ・自立支援協議会について 研修会の趣旨説明
- ・事例報告 (1) 児童発達支援事業所たびだち・つばさ
(2) 放課後等ディサービス Happy days
(3) 放課後等ディサービス リズム
- ・グループディスカッション
- ・グループ報告

今回は、鳩ヶ谷庁舎の大会議室が手狭になるほどの盛況ぶりで、スタッフを含めると 100 名近い方々にお集まりいただきました。様々な形で子どもたちの地域生活に関わってくださる方が集まり、子どもたちの生活に関する関心と意欲の高さが感じられる研修会となりました。



たびだち・つばさ



- ・児童発達支援事業所と放課後等サービス事業所を運営しています。
- ・障害のある児童とその家族が孤立することなく、安心して地域活動に参加し、子供達が社会に適応した生活を送れるよう自立支援のサポートをしています。
- ・発達支援事業所から児童デイへと活動の場所を変えながら、長い期間にわたって利用されるケースもあり、小さい頃から大きくなっていく成長過程をスライドショーで紹介していただきながら事業所の様子を紹介いただきました。

リズム



- ・平成 24 年度より、川口市に複数の放課後等サービス事業所を立ち上げて子どもたちとご家族の生活をサポートする活動をしています。
- ・生きる力をはぐくむことが理念です。外部講師を招いたりし、各事業所ごとに特色のある療育、運動、音楽、創作活動など行っています。
- ・スライドショーで各事業所の取組を発表していただきました。

HAPPY DAYS



- ・障害のあるお子さんにも豊かな放課後を保障したいという理念からが障害児学童保育としてスタートした事業所です。
- ・「明るく・楽しく・元気よく」をモットーにしています。子どもたちに寄り添える指導員の育成にも力を注いでいます。
- ・施設の歴史、指導方法、大切にしていることなど資料を通じて発表していただきました。

アンケートより～参加者のコメント～

- ・報告して頂いてとても参考になりました。子どもたちの笑顔が素晴らしかったです。
- ・他事業者の方と情報交換ができ、利用者様に対する姿勢や困っている事などの情報交換ができてよかったです。もっと機会を作り事業所同士のつながりをふかめていきたい。
- ・今後の活動のヒントになり、取りいれて活動していきたいと思います。
- ・社会性・将来性を考えた療育活動やマナーを身につけることが大切だと感じた。
- ・具体的な現場の様子が聞けて改めて自分達のケアの方法などを考えることができてよかった。
- ・事業所に持ち帰り是非とりいれて活動していきたいと思います。
- ・スライドやプリントを利用した発表がわかりやすかった。
- ・全体的な情報交換はとても参考になりました。事業所同士の横のつながりができてありがたいです。